

福井県スティックリング協会事業取材報告

～2023 スティックリング競技「にこやか交流大会」の様子から～

令和5年6月9日（金）9：00～16：00に福井市体育館において、福井県スティックリング協会主催で上記の大会が開催された。

体育館一杯の11コートを使って今年で13回目となる「にこやか交流大会」を行っていた。この大会の目的は『経験に関係なく新たなふれあいの中で、福井生まれのスティックリングを大いに楽しみ、心身共に健全で豊かな生活を実現するとともにスティックリング競技の普及を図る』というものである。

目的通りに参加者約130人がいつもとは違う選手の皆さんと3人一組となって協力しながら競技を楽しんでいた。また、主催者側の意図には公認審判員の資格を持っている方にこの大会を通して審判の経験を積んでもらうようである。

試合が一段落して汗を拭いて休んでいたお二人の方にインタビューした。お二人の話からは本日の大会を通しての楽しさが伺えた。このお二人は決勝でよく合うため仲良くなったそうである。

【福井：社北スティックリングクラブ所属 谷口正一郎さん】

「やりはじめて10年たった。自分以外のチームの方と会って、試合をして面白かった。よそのチームの色々な人と一緒に試合をしてわきわきと出来た。僕がリーダーとなってここと指示すると他の方がそこに打っていく。勝って楽しかった。」

【福井：和田愛好会所属 荒井直美さん】

「やり始めて5年。今日は、上手い方と一緒に試合をしたから勝つことは出来なかったが楽しかった。地元でもっと練習したいな~と思った。リーダーの統率力で違ってくるなと感じた。」

【会場の様子】

